

# 福山駅前再生フォーラムを開催しました！

日時：2018年（平成30年）3月28日（水曜日）13:00～  
場所：ローズコム4階大会議室

福山駅前再生ビジョンを策定しました。

フォーラムでは、市民のみなさんにビジョンをお披露目するとともに、「働く・住む・にぎわいのある福山駅前」の実現に向けて、福山市長やまちづくりの専門家たちが熱く語り合いました。



福山市長 枝廣直幹

**駅前の再生は大きな課題。ひるむことなく福山市はチャレンジしている。必ず成功させたい。**

- ・今は少子化・超高齢社会。そうした時代の到来を見据え、これからは人が中心となる駅前にしていかないといけない。
- ・行政が主導する。分かりやすいメッセージを市民のみなさんに提示する。
- ・行政のやるべきこと、考え方をしっかりと提示して、民間との連携につなげていきたい。
- ・市民のみなさんはもとより、このまちを訪れる人にも活力を感じて頂けるよう、福山駅前を再生して行きたい。

**福山全体の資源と駅前を結びつかせることが出来れば駅前は変わる。可能性の塊だ！**

- ・福山のまちが持っている潜在的な資源はすごく強力なものがある。「食」ひとつとっても素晴らしいポテンシャルがある。
- ・まちの人と交流できるタイプの面白い宿泊産業が発展する可能性が駅周辺にはある。「泊」と「食」の組み合わせは地元にお金が落ちる大きな産業となる。
- ・民間型の公共空間というものがある。カフェもその一つ。まちの人達がコミュニケーションを図る大事な公共空間となっている。
- ・豊かなまちは公共と民間の空間がバランスよく配置され、街並みを形成している。



清水 義次氏

**公共空間は行政だけがつくる場所ではない。多くの人がシェアする空間は全て公共的な空間だ。**

- ・多くの人がシェアする空間を公民連携または民間が自主的にどうやって提供するか。公共的な空間がまちじゅうにあふれてくればまちはすごく変わってくる。
- ・道路とか駅前広場がまちの中で占める面積は大きい。その風景が変わることは大きなインパクト、一気に変わっていく原動力になる。
- ・車でのアクセスを担保しながら、福山駅前は人に開放するというコンセプトで、福山駅前の交通のマネジメントをすると良い。
- ・車をどこからアクセスさせて、どこを歩行者に優しい道にして、駐車場をどうしないといけないかを一緒に考えながら、まちの全体を想像してみると面白い。



西村 浩氏

**行政も民間事業者も動いている。あとは市民のみなさんが本気になる番。ビジョン実現は総力戦。**

- ・行政はビジョンを策定し、リノベーションスクールも動かした。民間事業者にも新しい動きが見られている。あとは、市民のみなさんが本気になる番だと思う。
- ・ビジョンの実現は、総力戦じゃないと絶対にできない。
- ・市民のみなさんの働き方、暮らし方、楽しみ方、そういったものを新しい時代にどう求めていくのか。一緒に考えてみよう。
- ・ビルができただけではにぎわいは生まれない。市民のみなさんがまちづくりに参加する事でにぎわいがあふれるまちになると思う。



渡邊 一成氏